



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：ジンクパテST 主剤

製品番号 (SDS NO)：NIS_ZP-4

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：主に屋外、屋内の金属製品用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：日新インダストリー株式会社

住所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-15-11イーストンビル西早稲田2F

担当部署：品質管理部

電話番号：03-3209-2181

FAX：03-3232-6953

緊急連絡先電話：03-3209-2181

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2B

皮膚感作性：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 1

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

H320 眼刺激

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H371 臓器の障害のおそれ

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

P273 環境への放出を避けること。

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

P280 保護手袋を着用すること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

P391 漏出物を回収すること。

P321 特別な処置が必要である。

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

保管

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
亜鉛粉末	7440-66-6	80 - 90	-
ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)	25068-38-6	1 - 10	7-1279; 7-1283
ビスフェノールAとプロピレンオキサイド及びエピクロルヒドリンとの重縮合物	36484-54-5	1 - 10	-
酸化亜鉛	1314-13-2	1 - 10	1-561
変性エポキシ樹脂	非公開	1 - 10	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

酸化亜鉛，

ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)(令和7年4月1日施行)，

亜鉛粉末(令和8年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酸化亜鉛，

ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)(令和7年4月1日施行)，

亜鉛粉末(令和8年4月1日施行)

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項
特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度

(酸化亜鉛)

日本産衛学会(2021) 0.5mg/m³ (ナノ粒子)

(酸化亜鉛)

ACGIH(2003) TWA: 2mg/m³(R)STEL: 10mg/m³(R) (金属ヒューム熱)

ばく露防止

設備対策

手洗い/洗顔設備を設ける。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：ペースト状

色：シルバーグレー

臭いデータなし

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点：測定不能

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度：

難溶

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度：6.2g/cm³

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

労働基準法: 疾病化学物質

ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状); 金属ヒュームとして(亜鉛粉末)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状))

ラビット 刺激性 (CERIハザードデータ集 2001-36, 2002 et al)

(酸化亜鉛)

ラビット no dermal reactions (EU-RAR, 2004)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2B, 眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(亜鉛粉末)

ラビット 軽度の刺激性 (NITE初期リスク評価書, 2007)

(ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状))

ラビット 軽度の刺激性 (CERIハザードデータ集 2001-36, 2002)

(酸化亜鉛)

ラビット no/slight irritant (EU-RAR, 2004)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性 [厚労省局長通達]

ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)

皮膚感作性

[製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状))

cat. 1; DFGOTvol.19, 2003

生殖細胞変異原性

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)

発がん性データなし

生殖毒性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酸化亜鉛)

cat. 2; rat : EU-RAR, 2004

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 2, 臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(酸化亜鉛)
呼吸器、全身毒性 (NITE, 2008; ACGIH, 2003)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 1, 水生生物に非常に強い毒性

区分 1, 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(亜鉛粉末)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) ErC50=0.15mg/L/72hr (EHC 221, 2001)

(ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状))

甲殻類(オオミジンコ) EC50=1.7mg/L/48hr (CERI/NITE, 2006)

(酸化亜鉛)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=0.098mg-Zn/L/48hr (NITE初期リスク評価書, 2008)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(酸化亜鉛)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC=0.024mg-Zn/L/72hr (0.0299mg-ZnO/L/72hr) (EUR AR, 2010)

水溶解度

(亜鉛粉末)

反応する (ICSC, 1994)

(ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状))

0.0000041 g/100 ml (CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

(酸化亜鉛)

溶けない (ICSC, 2004)

残留性・分解性

[成分データ]

(ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状))

BODによる分解度:0% (既存点検)

生体蓄積性

[成分データ]

(ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状))

BCF ≤ 42 (Check & Review, Japan)

(酸化亜鉛)

BCF=217 (Check & Review, Japan)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

- 環境への放出を避けること。
- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
- 承認された廃棄物集積場で処理する。
- 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

- 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意**国連番号、国連分類**

- 国連番号またはID番号：該当しない
- 正式輸送名：該当しない
- 分類または区分：該当しない
- 容器等級：該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

- 国連番号またはID番号：該当しない
- 正式輸送名：該当しない
- 分類または区分：該当しない
- 容器等級：該当しない

IATA (航空危険物規則書)

- 国連番号またはID番号：該当しない
- 正式輸送名：該当しない
- 分類または区分：該当しない
- 容器等級：該当しない

環境有害性

- 海洋汚染物質 (該当/非該当)：該当

特別の安全対策

- 特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

- 有害液体物質(X類)
- ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)

MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

- 水生環境有害性: 短期(急性) 区分1 該当物質
- 亜鉛粉末; ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状); 酸化亜鉛
- 水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質
- 亜鉛粉末; ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状); 酸化亜鉛

国内規制がある場合の規制情報

- 船舶安全法に該当しない。
- 航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

- 毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

- 特化則に該当しない
- 有機則に該当しない
- 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
- 名称表示危険/有害物

酸化亜鉛(別表第9の188);
ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)(令和7年4月1日施行);
亜鉛粉末(令和8年4月1日施行)
名称通知危険/有害物
酸化亜鉛(別表第9の188);
ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)(令和7年4月1日施行);
亜鉛粉末(令和8年4月1日施行)
皮膚等障害化学物質(規則第594条の2)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法
危険物
第2類 可燃性固体 危険等級 III(指定数量 500kg)
化審法
優先評価化学物質
ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)(通し番号87 人健康影響)
大気汚染防止法
ばい煙 有害物質 政令第1条第1号から第5号
酸化亜鉛(政令第1条第4号)
有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質
亜鉛粉末(中環審第9次答申(別表1)の1)
酸化亜鉛(中環審第9次答申(別表1)の1)
水質汚濁防止法
指定物質
亜鉛粉末
法令番号 54
酸化亜鉛
法令番号 54

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)
IATA 航空危険物規則書 第65版(2024年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2023 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(NITE 令和4年度(2022年度))です。



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：ジンクパテST 硬化剤

製品番号 (SDS NO)：NIS_ZP1-4

製品種類：

ジンクパテST用硬化剤

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：主に屋外、屋内の金属製品用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：日新インダストリー株式会社

住所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-15-11 イーストンビル西早稲田2F

担当部署：品質管理部

電話番号：03-3209-2181

FAX：03-3232-6953

緊急連絡先電話：03-3209-2181

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1

皮膚感作性：区分 1

生殖細胞変異原性：区分 2

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 2

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H341 遺伝性疾患のおそれの疑い

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H370 臓器の障害

H371 臓器の障害のおそれ

- H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
 H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
 H401 水生生物に毒性
 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 P273 環境への放出を避けること。
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
 P280 保護手袋を着用すること。
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 P280 保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。
 P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。
 P280 指定された個人用保護具を使用すること。
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- P321 特別な処置が必要である。
 P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
 P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
 P310 直ちに医師に連絡すること。
 P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
 P304 + P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
 P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 P333 + P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
 P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管

- P405 施錠して保管すること。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:
 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
アミン化合物	非公開	60 - 70	-
p-tert-ブチルフェノール	98-54-4	20 - 30	3-503
ベンジルアルコール	100-51-6	10 - 20	3-1011
m-キシリレンジアミン	1477-55-0	1 - 10	3-308; 3-2888
フェノール	108-95-2	4.0	3-481

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ベンジルアルコール, m-キシリレンジアミン, フェノール,
p-tert-ブチルフェノール(令和7年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ベンジルアルコール, m-キシリレンジアミン, フェノール,
p-tert-ブチルフェノール(令和7年4月1日施行)

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

フェノール

化管法「第2種指定化学物質」該当成分

p-tert-ブチルフェノール

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度

(ベンジルアルコール)

日本産衛学会(2019)(最大許容濃度) 25mg/m³

(フェノール)

日本産衛学会(1978) 5ppm; 19mg/m³ (皮)

(m-キシリレンジアミン)

ACGIH(2019) STEL: 上限値 0.018ppm (眼, 皮膚及び胃腸刺激)

(フェノール)

ACGIH(1996) TWA: 5ppm (上気道刺激; 肺損傷; 中枢神経系障害)

[ACGIH] 特記事項

(m-キシリレンジアミン)

皮膚吸収

(フェノール)

皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

手洗い/洗顔設備を設ける。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：淡黄色～淡褐色

臭い：アミン臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点：98°C(クリーブランド開放法)

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：11.1

動粘性率データなし

溶解度：

難溶

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度：1.03g/cm³(23°C)

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

避けるべき条件データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)
rat LD50=1200mg/kg (JECFA FAS48, 2001)
(m-キシリレンジアミン)
rat LD50=660mg/kg (ACGIH 7th, 2019)
(フェノール)
rat LD50=340-530mg/kg (AICIS IMAP, 2014)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]
(ベンジルアルコール)
rabbit LD50=2000mg/kg (SIDS, 2004)
(m-キシリレンジアミン)
rabbit LD50=2000mg/kg (ACGIH 7th, 2019)
(フェノール)
rat LD50=0.50mL/kg (密度1.071g/cm³による換算値: 536mg/kg) (EPA Pesticides RED, 2009)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]
(ベンジルアルコール)
mist: rat LC50 >4.178mg/L/4hr (OECD TG403, GLP) (SIDS, 2004)
(m-キシリレンジアミン)
mist (aerosol): rat LC50=1.34mg/L/4hr (REACH登録情報, Access on May 2020)

労働基準法: 疾病化学物質

p-tert-ブチルフェノール; フェノール

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

[成分データ]

[日本公表根拠データ]
(p-tert-ブチルフェノール)
ラビット 重度の刺激性 (EU-RAR, 2008)
(m-キシリレンジアミン)
モルモット 腐食性 (ACGIH 7th, 2019) et al.
(フェノール)
(OECD TG 431) 皮膚腐食性 (AICIS IMAP, 2014)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

[成分データ]

[日本公表根拠データ]
(p-tert-ブチルフェノール)
ラビット 重度の刺激性 (EU-RAR, 2008)
(ベンジルアルコール)
ラビット (OECD TG405) 中等度の刺激性 (SIDS, 2004)
(m-キシリレンジアミン)
皮膚腐食性/刺激性区分1 (GHS分類結果)
(フェノール)
ラビット(OECD TG 405相当) 重度の結膜炎、虹彩炎、角膜混濁及び潰瘍、14日後にも回復しなかった (CERI 有害性評価書, 2008 et al)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性 [厚労省局長通達]

p-tert-ブチルフェノール

皮膚感作性

[製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)

cat. 1A; 産衛学会感作性物質の提案理由書, 2019

(m-キシリレンジアミン)

cat. 1A; 日本産業衛生学会 感作性分類 皮膚第1群 (日本産業衛生学会学会誌, Sep. 2019)

生殖細胞変異原性

[製品]

区分 2, 遺伝性疾患のおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(フェノール)

cat. 2; EU REACH CoRAP, 2015; ATSDR, 2008 et al.

発がん性

[成分データ]

[IARC]

(フェノール)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(フェノール)

A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性

[製品]

区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(p-tert-ブチルフェノール)

cat. 2; 環境省リスク評価第13巻, 2015

(フェノール)

cat. 1B; EFSA, 2013 et al.

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 2, 臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ベンジルアルコール)

中枢神経系、腎臓 (日救急医学会誌 vol. 29, p.254, 2018)

(m-キシリレンジアミン)

呼吸器 (REACH登録情報, Access on May 2020)

(フェノール)

心血管系、神経系、呼吸器、腎臓 (CERI/NITE有害性評価書, 2008)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(p-tert-ブチルフェノール)
気道刺激性 (環境省リスク評価第13巻, 2015)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]
(ベンジルアルコール)
麻酔作用 (環境省リスク評価第11巻, 2013; SIDS, 2004)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]
(ベンジルアルコール)
中枢神経系 (PATTY 6th, 2012)
(m-キシリレンジアミン)
呼吸器 (REACH登録情報, Access on May 2020)
(フェノール)
血液系、心血管系、肝臓、中枢神経系、腎臓 (CERI/NITE有害性評価書, 2008)

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 2, 水生生物に毒性
区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]
(p-tert-ブチルフェノール)
甲殻類(ベイシユリンブ) LC50/EC50=1.9mg/L/96hr (EURAR, 2008)
(ベンジルアルコール)
魚類(ブルーギル) LC50=10mg/L/96hr (環境省リスク評価第11巻, 2013)
(m-キシリレンジアミン)
甲殻類(オオミジンコ) EC50=15mg/L/48hr (MOE既存点検結果, 1999); 魚類(ゴールドンオルフェ)
LC50=75mg/L/96hr (SIAP, 2001)
(フェノール)
甲殻類(ニセネコゼミジンコ) LC50=3.1mg/L/48hr (MOE初期評価, 2002)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]
(p-tert-ブチルフェノール)
藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC (r)=0.32mg/L/72hr (環境省リスク初期評価第13巻, 2015)
(ベンジルアルコール)
甲殻類(オオミジンコ) NOEC=51mg/L/21days (環境省リスク評価第11巻, 2013)
(m-キシリレンジアミン)
甲殻類(オオミジンコ) NOEC=4.7mg/L/21days (SIAP, 2001)
(フェノール)
魚類(Cirrhina mrigala) NOEC=0.077mg/L/60days (SIAP, 2004)

水溶解度

(p-tert-ブチルフェノール)
溶けない (ICSC, 2000)
(ベンジルアルコール)
4 g/100 ml (ICSC, 2000)
(m-キシリレンジアミン)
よく溶ける (ICSC, 2002)
(フェノール)
溶ける (ICSC, 2001)

残留性・分解性**[成分データ]**

(p-tert-ブチルフェノール)
急速分解性なし (BOD分解度=0%/14 days; TOC分解度=1.2%/14 days (通産省公報, 1977))
(ベンジルアルコール)
急速分解性あり (BODによる分解度: 94% (既存点検, 1991))
(m-キシリレンジアミン)
急速分解性なし (BODによる分解度: 22%/4weeks (METI既存点検結果, 1984))
(フェノール)
急速分解性あり (BODによる分解度: 85% (METI既存点検結果, 1979))

生体蓄積性**[成分データ]**

(p-tert-ブチルフェノール)
log Pow=2.4 through 3.4 (ICSC, 2000)
(ベンジルアルコール)
log Pow=1.1 (ICSC, 2000)
(m-キシリレンジアミン)
log Pow=0.18 (ICSC, 2002); BCF < 2.7 (Check & Review, Japan)
(フェノール)
log Pow=1.46 (ICSC, 2001)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意**国連番号、国連分類**

国連番号またはID番号: 3267

正式輸送名:

その他の腐食性液体、アルカリ性、有機物、N.O.S.

分類または区分 : 8
容器等級 : III
指針番号 : 153
特別規定番号 : 223; 274
IMDG Code (国際海上危険物規程)
国連番号またはID番号 : 3267
正式輸送名 :
その他の腐食性液体、アルカリ性、有機物、N.O.S.
分類または区分 : 8
容器等級 : III
特別規定番号 : 223; 274
IATA (航空危険物規則書)
国連番号またはID番号 : 3267
正式輸送名 :
その他の腐食性液体、アルカリ性、有機物、N.O.S.
分類または区分 : 8
危険性ラベル : Corrosive
容器等級 : III
特別規定番号 : A3; A803
環境有害性
海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当
特別の安全対策
特別の安全対策データなし
MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(Y類)
フェノール; ベンジルアルコール
MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)
生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質
フェノール
特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質
ベンジルアルコール; m-キシリレンジアミン; フェノール
水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質
p-tert-ブチルフェノール; フェノール
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法
腐食性物質 分類8
航空法
腐食性物質 分類8

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ベンジルアルコール(別表第9の530の4); m-キシリレンジアミン(別表第9の555); フェノール(別表第9の474);

p-tert-ブチルフェノール(令和7年4月1日施行)
名称通知危険/有害物
ベンジルアルコール(別表第9の530の4); m-キシリレンジアミン(別表第9の555); フェノール(別表第9の474);
p-tert-ブチルフェノール(令和7年4月1日施行)
皮膚等障害化学物質(規則第594条の2)
p-tert-ブチルフェノール; ベンジルアルコール; m-キシリレンジアミン
化学物質管理促進(PRTR)法
第1種指定化学物質
フェノール(4.0%)
第2種指定化学物質
4-ターシャリ-ブチルフェノール(20%)
消防法
危険物
第4類 引火性液体第3石油類非水溶性液体 危険等級 III(指定数量 2,000L)
化審法
優先評価化学物質
フェノール(通し番号62 人健康影響)
大気汚染防止法
揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項
フェノール
有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質
フェノール(中環審第9次答申(別表1)の185)
特定物質 政令第10条第1号から第28号
フェノール(政令第10条第17号)
水質汚濁防止法
指定物質
p-tert-ブチルフェノール
法令番号 55
フェノール
法令番号 55

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2022 Edition (Incorporating Amendment 41-22)
IATA 航空危険物規則書 第65版(2024年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2023 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(NITE 令和4年度(2022

年度))です。